

令和6年度全建賞 推 薦 調 書
安全・安心確保に資する等の社会貢献活動並びに公共事業全般に係る広報活動・調査研究の部
(安全確保・広報・調査研究の部)

ふ り が な	じゃくねんそうへむけたせんりやくこうほう ～ わたしの“未来のまち”はこんな“まち” すがこんくーる～
1. 取組(活動)の名称	若年層へ向けた戦略広報 ～わたしの“未来のまち”はこんな“まち” 図画コンクール～
2. 事業(施策)実施期間	令和5年6月 19 日 ～ 令和7年3月 31 日
3. 事業費(調査費等)	0.2 百万円
4. キーワード	若年層へ向けた戦略広報、担い手確保、3次元点群データ

5. 公共事業全般に関する取組の分類(下記3つの③のうち、いずれかに○印)			
取組の分類 :該当に○印	③-1 安全・安心分野	③-2 広報活動分野	③-3 調査研究分野
アピールする 1)「手段」 (P29 別紙13 を参照して記載)	() () () ()	(d) 図画コンクールを開催 (f) 三次元点群データを活用した 動画を作成 (g) 若年層をターゲットにした担 い手確保	() () () ()
アピールする 2)「秀でた 成果」 (P29 別紙13 を参照して記載)	() () () ()	(a) コンクールの周知、募集を通 じ、インフラへの理解を促進 (e) 小中学生より、288 点の応募 があった	() () () ()

6. 事業概要 本県では、建設産業の理解促進と担い手確保等のため、「静岡どぼくらぶ」を立ち上げ、広報活動等を進めてきた。令和5年度は、特に若年層へ向けた戦略広報の取組として、新たに「わたしの“未来のまち”はこんな“まち” 図画コンクール 2023」を開催し、小中学生を対象に、児童が考える「2050 年に住みたいまち」の絵を募集した。288 点の応募作品の中から7点を優秀作品として選出し、令和5年 12 月 27 日に表彰式を開催した。 令和6年度も継続してコンクールを実施しており、昨年度以上の出前講座や PR 等の効果もあり、662 点の応募があった。
7. 特にアピールしたい点 ○小中学校の出前講座におけるPR 例年実施している学校への出前講座時に、職員が作成したインフラ文化動画(過去から未来への引継ぎ)を放映しながら募集案内を行い、インフラの重要性、魅力を感じるきっかけを創出した。 ○県土の三次元点群データ(VIRTUAL SHIZUOKA)を活用した動画の作成 最優秀作品(2点)を三次元化した動画を職員が作成し、副賞として贈呈した。児童が思い描く“まち”が可視化され、VIRTUAL SHIZUOKA の PR にも寄与した。 ○受賞作を用いた「静岡どぼカード」 県内のインフラ施設等を紹介する「静岡どぼカード」の限定版として、受賞作品を掲載したカードを作成し、受賞者に配布した。

8. 事業を代表する写真及びキャプション

小学生の部、中学生の部より、最優秀作品賞を各1点選出

【中学生の部：最優秀作品賞】

【小学生の部：最優秀作品賞】



再現動画



再現動画

作品名：グリーンタウンレール静岡

説明：太陽光電池を主に町を動かして障害のある人も楽しく過ごせる町にしました。

作品名：夢いっぱい未来 しずおか

説明：いつも目にする大好きな風景から、交通ネットワークが発達して活き活きとした未来のまちをイメージしました

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

■応募作品数の内訳

部門	小学生の部	中学生の部	計
R 5	205	83	288
R 6 (参考)	573	89	662

■表彰式の様子（令和5年12月27日 静岡県庁にて開催）



■コンクールの募集チラシ



チラシのデータは募集案内ページに掲載

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

■小中学校の出前講座におけるPR

県内5つの小中学校で、キャリア教育と合わせて、インフラの歴史・文化を紹介しながらコンクールをPR



※インフラ文化
動画を放映

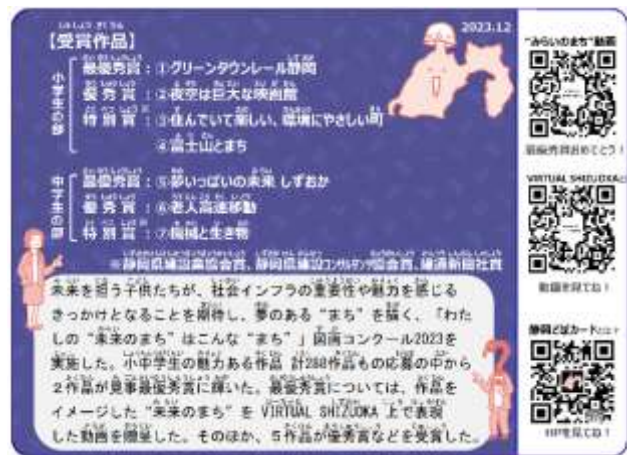


■県土の三次元点群データ(VIRTUAL SHIZUOKA)を活用した動画の作成



優秀作品を再現した動画

■受賞作を用いた「静岡どぼカード」の作成



■今後の取組

- 引き続き、図画コンクールを開催し、さらに多くの児童にインフラや“未来のまち”について考えてもらうきっかけを作る。
- 本取組を継続することで、建設産業への理解促進、担い手確保へつなげる。